



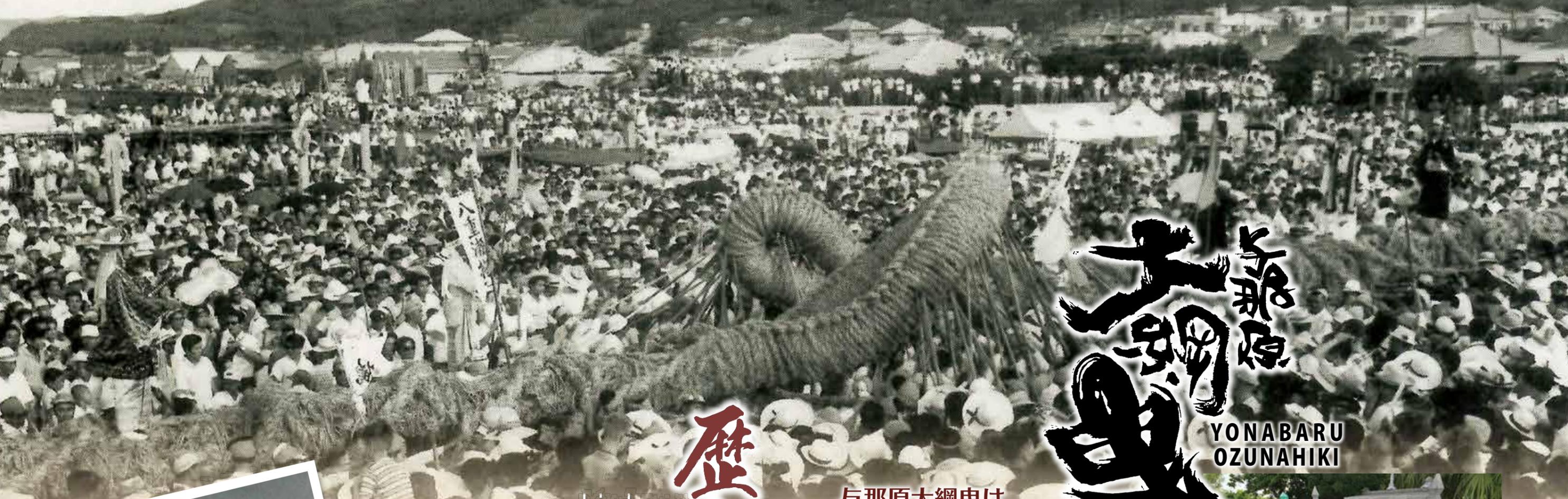
第23回ふるさとイベント大賞
内閣総理大臣賞受賞



与那原大綱曳まつり運営委員会
(与那原町観光商工課内)
TEL.(098) 945-5323

 与那原町観光ポータルサイト
YONABARU NAVI





与那原大綱曳

YONABARU
OZUNAHIKI

歴史

history

与那原大綱曳は どうして始まったの？

むか～し、昔、今から440年ほど前、日照りが続き大事な稲が虫に食べられ、人々の食べ物がなくなっていました。村人たちは困りはて、山奥にいるお年寄りに相談したところ「町中みんなで、鐘(かね)や太鼓(たいこ)を打ちならし、大きな声をあげて大きな綱を曳きなさい。そうすれば虫は退治されるぞ」という言葉を授かりました。さっそく言われた通りに人を集め、大きな綱を作り大綱曳をしたところ、恵みの雨が降り悪い虫は全滅して、それ以降、たくさんのお米がとれるようになって幸せに暮らしたということです。

また、沖縄3大つなひきには「挽」「引」「曳」の文字が使われていますが、那覇大綱挽の「挽」は力を競う、糸満大綱引の「引」には疫病など払い除くという意味があるとされています。「曳」を使う与那原大綱曳は、決して勝ち負けを競うのではなく、無病息災、子孫繁栄、五穀豊穡、雨乞いを願う神事であり、また老若男女誰もが参加できて「曳きちゅらさ」「勝ちちゅらさ」「負きちゅらさ」(勝っても負けても和気あいあい)と伝えられています。

だから、与那原大綱曳まつりの
期間中、どこかで雨が降るんだっちな～。
お天道様が、よなばるんちゅの思いを
今も叶えてくれているんだね♪





「ガーエー」



回	年	勝	敗
★	第1回 1983	[8.7]	★
★	第2回 1984	[7.29]	★
★	第3回 1985	[8.25]	★
★	第4回 1986	[8.25]	★
★	第5回 1987	[8.2]	★
★	第6回 1988	[8.14]	★
★	第7回 1989	[8.6]	★
★	第8回 1990	[8.19]	★
★	第9回 1991	[8.11]	★
★	第10回 1992	[8.2]	★
★	第11回 1993	[8.15]	★
★	第12回 1994	[8.7]	★
★	第13回 1995	[7.30]	★
★	第14回 1996	[8.11]	★
★	第15回 1997	[8.3]	★
★	第16回 1998	[8.23]	★
★	第17回 1999	[8.8]	★
★	第18回 2000	[7.30]	★
★	第19回 2001	[8.19]	★
★	第20回 2002	[8.4]	★
★	第21回 2003	[8.3]	★
★	第22回 2004	[8.15]	★
★	第23回 2005	[8.7]	★
★	第24回 2006	[7.30]	★
★	第25回 2007	[8.12]	★
★	第26回 2008	[8.3]	★
★	第27回 2009	[8.16]	★
★	第28回 2010	[8.8]	★
★	第29回 2011	[7.31]	★
★	第30回 2012	[8.10]	★
★	第31回 2013	[8.4]	★
★	第32回 2014	[7.27]	★
★	第33回 2015	[8.16]	★
★	第34回 2016	[7.31]	★
★	第35回 2017	[8.20]	★
★	第36回 2018	[8.12]	★



「道ジュネー」

「与那原大綱良は、琉球の歴史上の人物に扮した『支度』が大綱の上に乗って、みんなで担いで道ジュネー(行列)するのが特徴なんだつな。その姿は龍が天に昇るみたいなんだよ〜！」



「優勝杯」



西

大綱曳係

Ogunabikisakari

東

「大綱曳係」
《おつなひきかり》

大綱曳の主人公「大綱」を制作するときに指揮をとる係。一番重要な「カナチ」(頭)部分の編目の美しさや、安全で丈夫な大綱にするのが難しい。地域の綱作りも教える大切な役目を担う。

与那原の大綱は、雄綱(東)も、雌綱(西)も朝から夜中までかけて、ていねいにつくるんだっちな。だからカナチ部分がと〜ってもきれいなんだよ。



カナチ棒

Kanachibo

与那原大綱曳はスタートの台図がなくって、カナチ棒がいらないと始まらないから、とっても大切な棒なんだっちな。

与那原大綱曳は、東西の大綱のカナチ(頭)が結合したところに「カナチ棒」が差し込まれた瞬間に曳き合いが始まるというのが特徴です。

カナチ棒は2本あり、1本は栗の木で作られたもので、重さが約70キロ、長さ3.2メートル、もう一本はゆし木で、約65キロ、3.1メートルで少し小さい。乾燥でヒビが入らないように、一年中、親川(うゑがー)の水だめの中に保管されていて、大綱曳本番の数日前に取り出して、きれいに洗い、艶出しの油をぬり本番を迎えます。

「カナチ棒」
《かなちぼう》



West 西 東

ACARI 東 East

旗頭

Hatagashira



つなひきの花形といわれている旗頭は60キロくらいの重さがあるって、とっても大変なんだっちな。

与那原大綱曳の中でもとっても華やかで、東西総勢およそ50人もいる大所帯。持ち手が1人、ティーンナ(手綱)持ち3人が1組となって持つ。大綱の前に勇壮に旗頭を持ち上げ、氣勢をあげるガーイーでは自陣の仲間たちを鼓舞し、勝利への勢いをもたらす役目をもっている。

大綱曳の勝負に勝った後には、勝った綱の旗頭が先に旗頭を躍らせて喜びを表す「勝ち名乗り」をあげ、2本勝負が終わったあとに東西の旗頭をすり合わせてお互いを称え合うのは、与那原だけの特徴で見どころの1つでもある。

「旗頭」
《はたがしら》



与那原大綱曳 配置図





支度

Shitaku



「支度」
「したく」

与那原大綱曳の特徴の1つは、大綱の上に琉球の歴史上の人物や物語の主人公などの人物に扮した支度(したく)が乗って、道ジュネー(行列)をし、綱曳が始まる直前まで大綱の上にいること。毎年、男性14名が選ばれ、化粧をほどこし豪華絢爛な衣装を身にまとう。演目は大綱曳本番まで係以外は誰も知らず、当日に初披露となる。支度係は1年をかけて演目を選び、衣装や小物を制作。



当日は14名のお化粧や着付けをし、道ジュネーと綱曳本番で彼らがケガをしないように見守る。表舞台には出ないがとても大切な役目である。

支度が大綱の上に乗って行列するのは与那原だけで、衣装はと〜つても豪華。それに大綱曳の日が見られないので、絶対に見逃さないでねっちな。



西

West

東

East



「六尺」
「ろくしゃく」

六尺棒、三尺棒、八尺棒を手にもって、大綱のカナチ(頭)を持ち上げて運ぶ役目をもっている。氣勢をあげてもりあげるガーエーの時は、旗頭の周りを囲んで棒を上下に振り、陣地を交代して相手布陣の旗頭を囲んだ時は、「そっちには負けないぞ〜」と旗頭とにらみ合いをする。



重いカナチを持ち上げて運ぶのは力があるので、六尺係はとっても力持ちなんだっちな。



六尺

Rokushaku



大綱曳の勝負本番は、東西の大綱のカナチ(頭)を結合させるために大綱の高さを合わせる事が重要で、タイミングを合わせることはとても難しい。綱の下に人が入らないよう、みんなの安全を守る警護役でもある。



みんなが怪我無く楽しめるように、安全を守る大事な役目を担っているんだっちな。



ドラ・ボラ

Dora・Bora

〔ドラ・ボラ〕《どら・ぼら》

氣勢をあげて盛り上げるガーイー、道ジュネー（行列）、大綱曳本番、すべて「ボラ」（ほら貝）の音を鳴らし、スタートの合図を促す大事な楽器。

「ボラ」の音が響いたあと、続いて「ソーグ」（鉦鼓）がカンカンと打ち鳴らし、「サー！！」の掛け声と同時に大綱が持ち上がって、「ドラ」（銅鑼）も叩いて盛り上げる。金鼓隊と一緒にリズムを刻む、重要な役目を担う。

ドラ・ボラの音で
大綱曳を盛り上げるよ！
その音でソワソワしますが、
よなぼらんちゅなんだっちな。



金鼓隊

Kinkotai

〔金鼓隊〕《きんこたい》

まつりに欠かせない音を担当する重要な役目。「ソーグ」（鉦鼓）と締め太鼓をもってリズムをとる音楽隊の総称。

氣勢をあげて盛り上げるガーイーや、大綱を持ち上げたり、行列を進めるなど、すべての始まりと終わりを告げる音が、金鼓隊に委ねられている。ソーグはまつりの指揮者である。

まつり1週間前から、与那原中2年男子のみんなは夕方集まって練習をするんだよ。金鼓隊の音が町に聞こえだすと、いよいよ大綱曳だあ～ってチムワサワサー（ワクワク）するんだっちな。



〔前舞い〕《メーモーイ》

男性の役目が多い大綱曳の中でも、女性たちがあでやかに彩るのが前舞い（メーモーイ）で、大綱の前に陣取って、大綱を先導する役目。

氣勢をあげて盛り上げるガーイーや、大綱曳本番前にも、チチン太鼓の音に合わせて、歌って踊る。歌はゆっくりとしたものと、速いリズムと2種類あって、与那原中学2年の女子生徒たちは、全員夏休みに練習をして、大綱曳の前舞いとして参加する伝統がある。



前舞い

Me-mo-i

ちびっこからベテランまで女子たちが大綱曳に華をそえるんだよ。町外の人でもだれでも前舞いに参加できるというのも嬉しいっちな



綱が出来るまで



1 与那原の小学生は「田植え」「稲刈り」の授業があるんだ!



2 金武町から藁を購入し、老若男女みんなで美しい大綱の素になる藁を整えるよ。



3 13区で藁をねじり合わせ、長いもので180メートルの綱を計70本・長さ約3.7km分も作るんだ。



4 まつり初日に朝から夜中までかけて各区の綱を大綱にするよ。



5 「ヤーマ」を使って締めあげて、その後はせ〜んが手作業で作るんだっ。



6



7 東(雄)西(雌)のカナチ(頭)部分の編み目の美しさに注目っちな!!

みんなで協力して心を込めて作っているんだっちな!!



与那原大綱曳まつり会場図



大綱曳に参加されるみなさまへ

与那原大綱曳は、どなたでも参加できる綱曳です。ワクワクどきどきを一緒に体感しましょう!
☆注意:安全第一!!気分が悪くなったら我慢せず、衣装を身につけた人に必ず声をかけてくださいね。



危険防止のため
スニーカー着用を!
参加者には Tシャツ
をプレゼント!

★大綱の担ぎ方★

15:00 中央通り集合
(大綱を担ぐ方)

MAP ①

大綱を担ぐ準備をしよう

16:00 ガ一エー

MAP ②

★16:30 道ジュネー

いよいよ綱を担ぎます!

会場入り!

MAP ③

会場内でガ一エー
(一度綱を下ろします)

再度綱を担いで

★17:00 大綱曳!!

ガ一エー

再度綱を担いで

★大綱曳2回戦!!

ガ一エー

終了!

自由解散です

引き続きまつりを
お楽しみください

①大綱を挟んで4人が並びます。初めて担ぐ方は外側に立ってください。ボラとソーグ(鐘)の音が鳴った後、「サーッ!」の声に合わせて首をくぐらせ肩に担ぎあげます。

②丸太を担ぐ4人は、大綱が左右に傾かないよう、できる限り身長差がないように調整します。



まつり会場に入ったら前方にいる大綱のカナチ(頭)部分に注目してね。カナチ部分を支える六尺が綱から棒を外したら一旦大綱を地面におろすよ。



再びボラとソーグの音が響くよ。その後の「サーッ!」の掛け声で丸太をもち上げよう!持ち上げ方は上の説明と同じだよ!綱曳は2回あるからまだ帰らないでね!

東西の大綱が結合し、「カナチ棒」が挿入された瞬間、大綱が前からドミノ倒しのように地面にたたき落とされ大綱曳が始まるよ!それから、転ぶと危ないから担いでいる丸太は落とした後、横に引き抜いてね。その後は綱曳きに参加しよう!曳くのは大綱から伸びる手綱だよ!



衣装を身につけた人に声をかけてね!赤色の西(いり)、紫色の東(あがり)ともに200人の力が必至だよ



③基本は綱に近い方の手で前の人の丸太を支え距離を保ちましょう。また、もう片方の手で自分の肩のついた丸太を支えます。

④大綱を下ろす際は、前方から徐々に丸太を落としていきます。担いでいる丸太が自然に背中や後ろに落ちていく感じです。

⑤その時は足を平行にそろえましょう。

⑥片足が前に出ていると...、こうなります。

大綱を下ろしている間に水分補給をする時間があるよ。大綱の左右に補給所があるので、しっかり水分補給をしてね!



大綱曳が2回終了したら東西の旗頭をすり合わせて戦いをたえ合うよ。与那原大綱曳は勝っても負けても和気あいあいとしていて、とっても気持ちいい!綱を曳いた後はみんなでメーモーと一緒に踊ろう!

